

# たんぽぽ

風に乗って飛ぶたんぽぽの穂のように、情報が広く届きますように…

《第1号》

発行日 2013年11月 発行

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会  
〒669-1514 三田市川除 675 番地  
三田市総合福祉保健センター内  
Tel 559-5965 fax 559-5945  
Email chiiki@sanda-shakyo.or.jp

これまで、地域福祉系では、テーマ型団体を対象とした「**風だより**」、地縁型団体を対象とした「**ミルクティー**」、2種類の便りをお届けしていました。



今年度は、「**風だより**」「**ミルクティー**」を一体化させ、テーマ型・地縁型を問わない、多様な幅広い福祉の情報を発信していきます。

## 新たに情報をお届けします

### なぜ、「たんぽぽ」？

「風に乗って遠くまで届くたんぽぽの穂のように、この便りを通じて、**情報やつながりの輪が広がりますように**。そしてその情報はやがて、活動者の地道な取り組みによって**三田の地に根付きますように**」との想いを込めて、名称を「**たんぽぽ**」としました。

### なぜ、発行を一体化したの？

テーマ型団体も地縁型団体も三田市内の“**地域の支え合い活動の担い手**”という点で共通しています。地縁の団体やボランティアグループなど対象を問わず幅広い情報を共有していくことで、活動者同士のつながりや協働の取り組みが行われることを期待します。

- ★ **テーマ型団体**… 特定の問題や課題解決に向けて活動している団体のこと。  
取り組み内容を重視。 例) 手話サークル、外出介助ボランティア
- ★ **地縁型団体** … 地域に根付いた団体で、地域の課題に対して取り組みを行う団体のこと。  
取り組む範囲(地域)を重視。 例) 自治会活動、ふれあい活動推進協議会



## お互い様の地域づくりをめざして

～テーマ型団体・地縁型団体 互いの良さを活かした活動～

### 本庄地区 中村順子さんへインタビュー ～地域福祉活動に対する想いとは？～



外出介助ボランティア「かけはし」や車いすレクダンス普及会三田支部の立ち上げ、本庄地区体育振興会の結成など地域福祉の活動に長年関わる中村さん。テーマ型団体と地縁型団体、両方の活動に取り組む中村さんだからこそ感じる想いについて伺いました。

Q.1 現在、取り組んでいる活動について教えてください。

A.1 現在は、車いすレクダンス普及会三田支部の活動と、「まごの手 本庄」の活動を中心に行っています。かけはしの活動もしていましたが、これからは若い世代のみなさんに頑張ってもらいたいと願っています。

▶ 車いすレクダンス 活動中の様子



Q.2 テーマ型の活動を続けてこられた中村さんが、地縁の活動に取り組もうと思ったきっかけについて教えてください。

A.2 まごの手活動養成講座が終盤を迎えた頃に、メンバーの1人から「テーマ型団体の中で活動してきた経験をこれから立ち上げる『まごの手 本庄』に伝えてほしい」と声をかけていただきました。

地縁のグループで活動していくことに始めは悩みましたが、テーマ型の活動もそろそろ次の世代に引き継ぐ時期だと感じ、これからは将来自分がお世話になるだろう本庄での活動を自分が動ける間にさせてもらおうかな、という想いが強くなり、地域の活動に協力させていただくことを決めました。



▶ 「まごの手 本庄」活動中の様子

Q.3 テーマ型団体と地縁型団体が一緒に活動していくためのポイントについて教えてください。

A.3 テーマ型と地縁型、両方の活動をしています。活動に対する「思い」はどちらも同じです。「相手の気持ちをくみ取りながら、相手の立場に立って行動ができること」「人に対する優しさ(愛でる心)で動くこと」この活動に取り組む姿勢は活動内容や対象者が違って、共通します。テーマ型・地縁型、違いを数えたらきりがありませんが、その中でも共通する「思い」が大切ではないかと思います。私は、活動を通じて自分の思いが相手に伝わり、相手の喜ぶ姿を感じた時にボランティアをさせてもらってよかったという達成感を感じます。

#### 「まごの手活動養成講座」とは・・・

地域の中の困りごとに目を向けて、住民の助けあいなどによる解決の方法を考えるための講座です。(例えば、買い物や外出、電球の取り換え等ちょっとした生活支援など)講座終了後には、自主グループの立ちあげとともに、その地域に合った活動が行われています。



## テーマ型・地縁型 一緒に取り組む活動をご紹介します (ウツティ・カルチャー地区 あかしあ台)

### あかしあサロン 喫茶寄り道(中原雅子さん、岡村澄子さん) with コールあかしあ(奥村美佳子さん)

喫茶寄り道は、あかしあ台ふれあい活動推進協議会が中心となり、あかしあ台にお住まいの高齢者を対象にコミュニティハウスにて月1回、サロンを実施しています。

「コールあかしあ」のピアノ伴奏と歌声に合わせて、参加者全員で歌う企画が大人気で、多くの参加者が歌声を響かせます。毎年恒例のクリスマス会など、「コールあかしあ」を招いてのサロン開催が定期的に行われています。

喫茶寄り道 岡村さん、中原さん、コールあかしあ 奥村さんにお話を伺いました。



▲毎年恒例のクリスマス会の様子

#### Q.1 「喫茶寄り道」と「コールあかしあ」が一緒に活動するようになったきっかけは？

(奥村さん) 約9年前、当時の会長さんより「喫茶寄り道の月2回開催に向けて、月1回、サロンで参加者と一緒に歌えるプログラムをお世話になれないだろうか」とご相談いただきました。これまでも何度か喫茶寄り道で出演していましたが、地域のみなさんと一緒に取り組み、喜んでいただける姿にメンバー自身がやりがいを感じていました。聞かせるコーラスだけでなく、みんなで歌うコーラスを地域で行っていきたいという思いもあり、これが形となったのが今の活動です。

(中原さん) サロン側の「だれか一緒に取り組んでくれる人はいないだろうか?」という思いと、コールあかしあさんの「地域でも活動していきたい」という思いが一致したからこそ、今の活動につながっていると感じます。

#### Q.2 一緒に取り組んでみて感じることは？



▶ サロンの中で手遊び歌もされています

(奥村さん) 「コールあかしあ」のメンバーも地域で生活する一人です。昔懐かしの誰もが知っている曲を当時を思い出しながら地域(参加者)のみなさんと一緒に歌うことを楽しみながら活動しています。

(岡村さん) サロンの企画が大変なときもありますが、コールあかしあさんにお世話になるときは、進行などすべてお願いできるため、世話役も参加者と一緒に楽しくすることができ、大変ありがたいです。

#### Q.3 「喫茶寄り道」と「コールあかしあ」のように地縁型団体とテーマ型団体が一緒に取り組むための秘訣を教えてください。

(中原さん) 先ほども伝えましたが、サロン側と出演者側の気持ちが一致することだと思います。

(奥村さん) サロンの世話役も出演者も、参加者が楽しんでいることを実感し、それをやりがいに感じられることだと思います。

(岡村さん) サロンの参加を通じて、街中で出会ったときに声掛けができ、つながりが生まれています。参加者同士が「いつもコールあかしあのときに来ている人だ!」と親しみを持って話されています。コールあかしあとの継続したつながりがもたらす成果だと感じます。

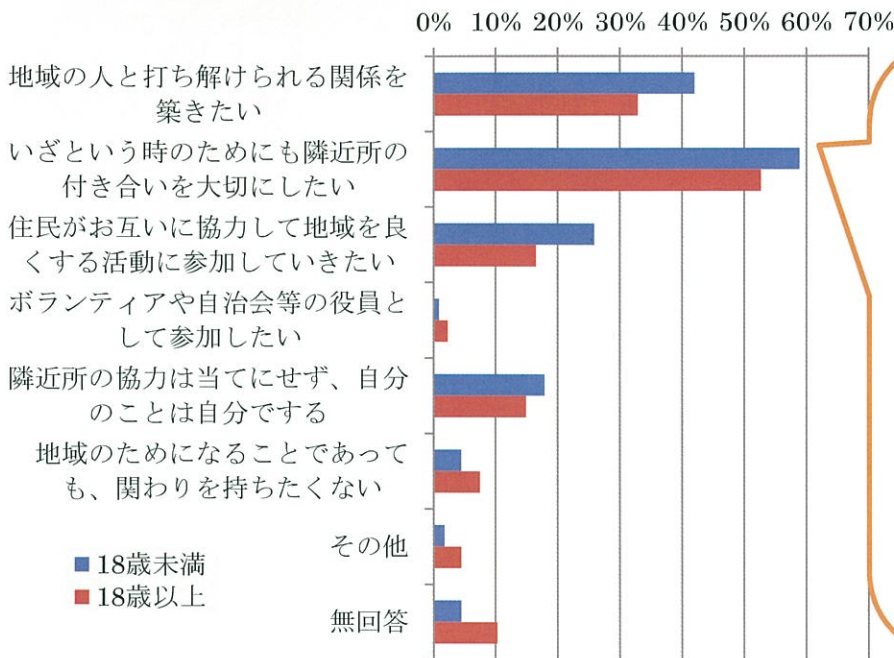
#### ここがポイントです!

サロン活動によって、普段から声をかけ合える関係づくりが広がっている点について、地縁型とテーマ型が継続して関わりを持ちあうことで、サロン全体がアットホームな雰囲気の中展開され、つながりづくりへの効果がより発揮されています。





～三田市第4次障害者福祉基本計画ユニバーサルプラン2012より～  
アンケート調査結果に、障がいのある人が地域との関わりをどのように考えているかについて、「いざという時のためにも隣近所の付き合いを大切にしたい」が、最も高く、多くの人が地域住民との密なるつながりを望んでいることがわかります。



近隣の付き合いを大切にしたいという思いはあるものの、実際のところ、自治会行事等に参加するなど、主体的につなかりをつくることには消極的な方も多いようです。

また、地域としては、話を伺うことでようやく関わりを持つこともできるが、そうでなければプライバシーに係ることもあり、積極的な働きかけが難しいとの声が聞かれます。

障がいの有無に関わらず、地域との関わりを持つ方法として、一番の近道は地域の行事（クリーンデーやお祭りなど）に参加して、できるだけ多くの方に「笑顔であいさつ」することに違いありません。でも障がいのあることから参加そのものが難しい・・・人の輪の中に飛び込んでいく自信がない・・・も現実です。それでも、付き合いを大切にしたいと思う時点で、地域でふれあいを



大切にしていくことの第一歩を踏み出しています。その力が発揮できるようサポートすることは、地域福祉支援員であり、障がいに関する専門機関、またセルフヘルプ（当事者）グループとしても役割のひとつ。後押しできることがいろいろあると思います。「いざというときは、たすけてな！」と言い合える関係性は、お互いに求められているところ。一緒に考えていきましょう。

### 地域福祉活動に関するご相談はこちらまで！ ご気軽にどうぞ★

三田市ボランティア活動センター（総合福祉保健センター内）	TEL:564-0410	FAX:559-5945
三田三輪地域福祉支援室（総合福祉保健センター内）	TEL:559-5965	FAX:559-5945
広野本庄地域福祉支援室（広野市民センター内）	TEL:560-5822	FAX:560-5823
小野高平地域福祉支援室（高平ふるさと交流センター内）	TEL:560-8177	FAX:560-8178
藍地域福祉支援室（藍市民センター内）	TEL:568-5400	FAX:568-5405
フラワー地域福祉支援室（フラワータウン市民センター内）	TEL:550-9008	FAX:550-9009
ウッディカルチャー地域福祉支援室（ウッディタウン市民センター）	TEL:553-8373	FAX:553-7023